

府中市が進める インフラマネジメントについて

【平成30年度】



府中市マスコットキャラクター

ふちゅこま

インフラの数量・状態

施設項目		数量	
道路	車道	2,430路線	431.706km
	歩道	—	170.283km
	植樹ます	2,532か所	—
道路付属物	標識	1,238基	—
	街路灯	17,644基	—
	道路反射鏡	3,113基	—
	街路樹	10,488本	—
橋りょう	道路橋	21橋	369m
	歩道橋	15橋	410m
立体横断施設等	ペDESTリアンデッキ	2か所	—
	エレベーター	7基	—
	エスカレーター	4基	—
大型構造物	ボックスカルバート	10か所	—
	擁壁	15か所	—
	その他	1か所	—
公園緑地等		396か所	1,436,305m ²
法定外公共物		—	311,822m ²
下水道		—	752.409 km



道路の舗装がひび割れ、穴が開いた事例

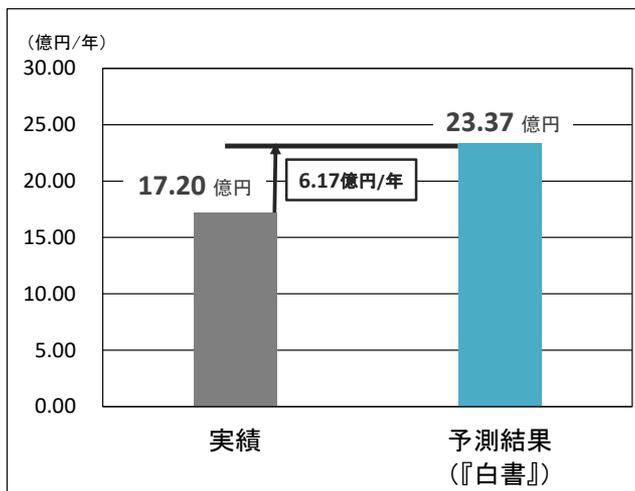


公園遊具の手摺が折れた事例

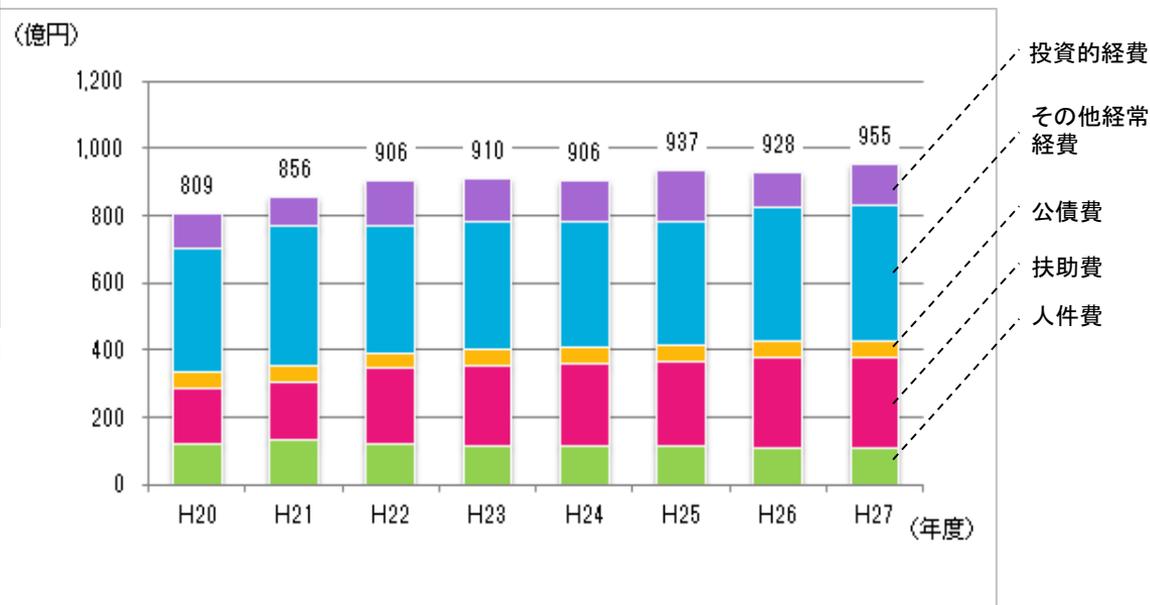


下水道管きよの老朽化の事例

府中市の財政状況



府中市インフラマネジメント計画(2018年度)より



総務省市町村別決算状況調より

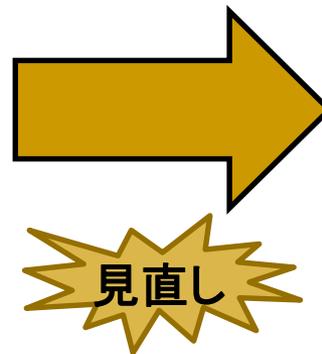
- 全体の歳出は、微増傾向にある
- 扶助費(医療費助成、生活保護費等)は増加傾向
- インフラ更新に関わる投資的経費は、年度により変動がある

インフラマネジメントの経緯

- 市の財政状況を踏まえ、安全なインフラの維持のため、「インフラマネジメント」に取り組むことが必要



平成25年1月策定



平成30年7月策定

インフラマネジメントの方針

【目標】 インフラを市民共有の財産として、良好な状態で、
過度な負担を残すことなく、次世代に引き継ぎます

【基本的な考え方】

【安全性の確保】

インフラを良好な状態で次世代に引き継ぐため、安全性を確保します

【財政負担の軽減】

次世代に過度な負担を残さないため、インフラを適正な数量にすることで、財政負担の軽減等を図ります

【取組の推進体制の構築】

課題の解決に向けて、公共施設とインフラの対策に連携して取り組むなど、取組の推進体制を構築します

インフラマネジメントの視点

1) インフラの状況・公共サービスのニーズに応じたマネジメント

今後必要な機能、配置及びサービスを検討

2) 中長期的なマネジメント

予防保全型管理の推進による長寿命化

3) 財政への影響を踏まえたマネジメント

歳入確保と維持管理・補修更新経費の削減

4) 実施体制を想定したマネジメント

関係部署間との調整・合意形成を行う体制

5) 市民及び民間事業者との協働によるマネジメント



①ほっとするね 緑の府中

府中市

インフラマネジメントの施策

施策方針

1 インフラ管理全体

- ①歳入の確保
- ②総量の抑制
- ③市民への周知活動

- ・サービス料金の適正化
- ・インフラの新設等をする場合の要否の判断制度
- ・シンポジウムの開催

2 維持管理

- ①維持管理業務の効率化
- ②官民連携手法の推進
- ③管理情報の電子化による効率化
- ④市民との協働による管理

- ・道路等包括管理事業
- ・インフラマネジメントシステムの活用
- ・インフラ管理ボランティア制度

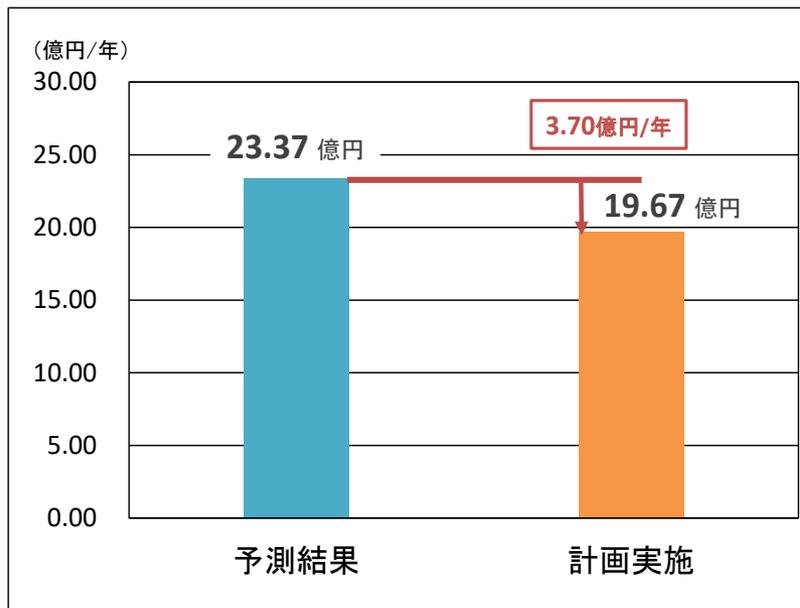
3 補修更新

- ①ライフサイクルコストの効率化
- ②集約化及び合同化

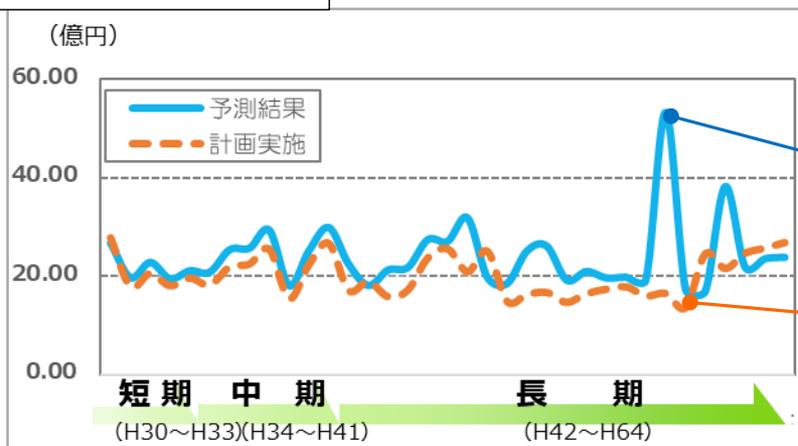
- ・定期的な点検の実施
- ・長寿命化修繕計画の策定
- ・施設の集約化・合同化



インフラマネジメントの効果



- ・今のインフラの水準を維持するために将来的に必要な額である「予測結果」は、年間あたり23.37億円。
- ・計画の施策による効果額を3.70億円と見込んでいるため、効果を反映すると年間あたり19.67億円で抑えられる想定。



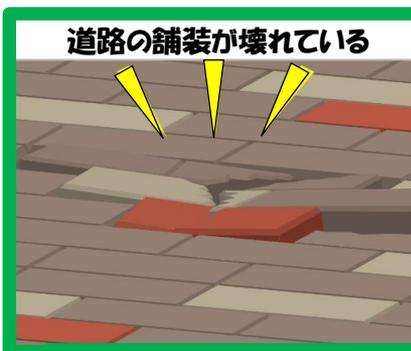
歳入を加えても歳出の集中、ムラを解消できない

歳入の増加、歳出の削減と平準化により、相乗的にマネジメントの効果を発揮

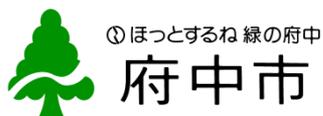
取組 1 道路等包括管理事業①

道路等包括管理事業とは…

道路の補修・街路樹の管理・清掃など、道路の日常の維持管理に関わる業務をまとめて民間事業者にかかせる事業です。このことにより、市民サービスの向上と管理経費の削減を目指します。



委託期間 平成30年4月～平成33年3月



受注者 岩井・府中植木・日東建設共同企業体
電話 042-340-0160

取組 1 道路等包括管理事業②

・公益財団法人 土木学会からの表彰

公益財団法人土木学会の中にある建設マネジメント委員会から「グッド・プラクティス賞」を受賞しました。

・グッド・プラクティス賞とは

建設マネジメントの実務において、創意工夫に富む意欲的な取り組みを行い、建設マネジメントの発展に貢献が認められる者に授与する。

(社)土木学会建設マネジメント委員会 表彰規程より



取組 2 街路灯・公園灯のLED化①

■ 効果

①環境負荷の低減

消費電力が削減されることで、温室効果ガス(CO₂)も削減できる。

②管理経費の削減

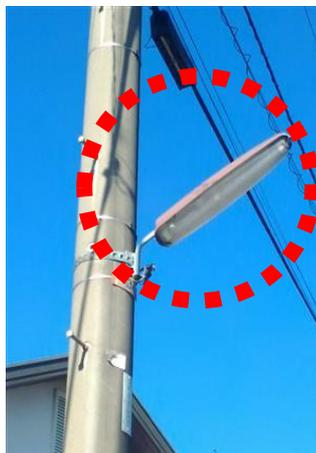
LED器具の導入により消費電力が削減されるため、電気料金が削減できる。

③官民連携の推進

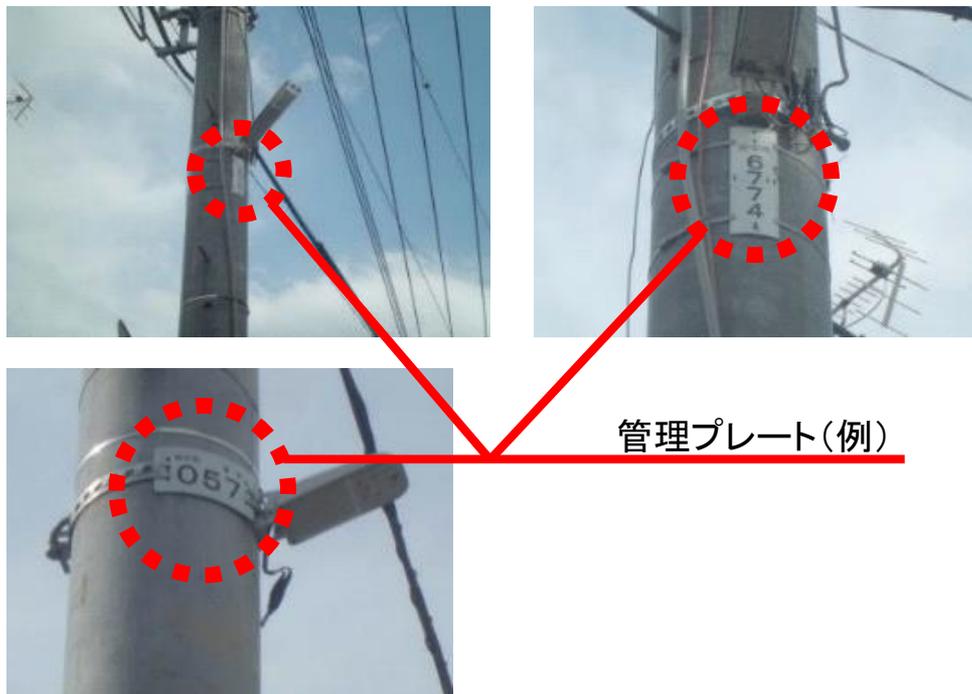
民間事業者の持つノウハウを活用することで、効率的な管理が可能になる。

エスコ
※ ESCO事業とは

Energy Service Companyの略。民間事業者が省エネルギーに関する設計や維持管理などといった業務を総合的に請け負う事業。



取組 2 街路灯・公園灯のLED化②



維持管理業務期間

平成30(2018)年8月～平成40(2028)年3月

受注者

府中市街路灯・公園灯LED化整備等 事業グループ

(東芝エレベータ株式会社、吉野電設株式会社、IBJL
東芝リース株式会社、国際航業株式会社多摩営業所)

消えている街路灯・公園灯を発見した
場合は、灯具周辺の管理プレートに記載さ
れている番号を確認し、下記の連絡先へ

電 話

0570-666-181

街路灯・公園灯修繕コールセンター
(東芝ビルファシリティコールセンター内)

取組 3 施設の点検・長寿命化

Step1
定期的な点検
の実施



Step2
長寿命化計画
の策定



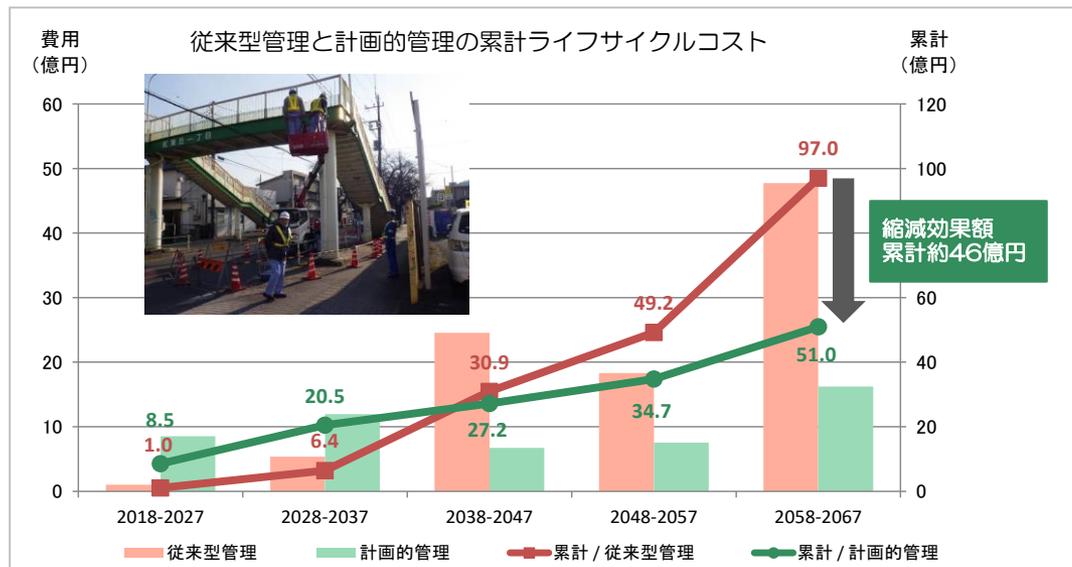
Step3
計画的な維持管理
の実施



Step4
必要に応じて
見直し

府中市橋梁長寿命化修繕計画

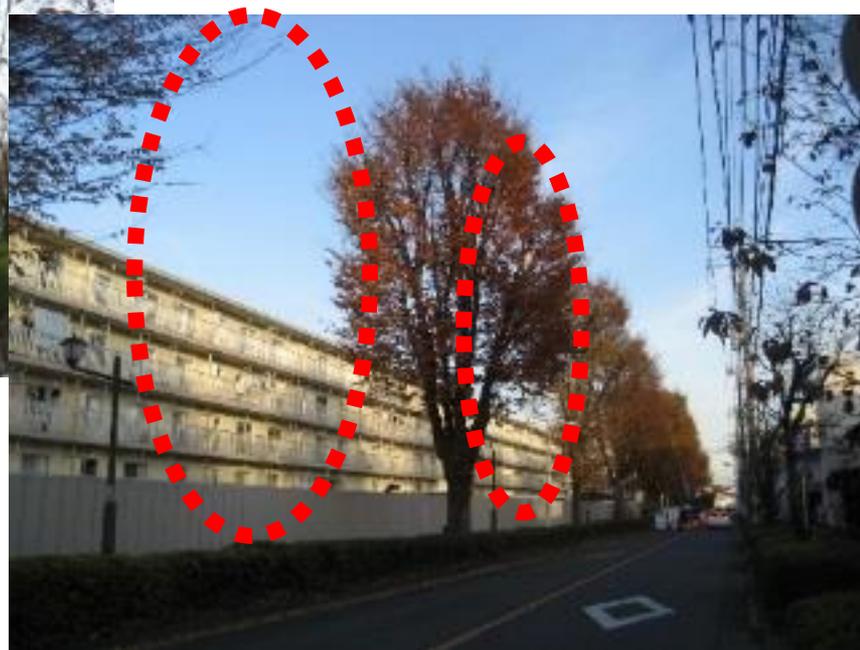
- ・道路
路面性状調査(H23・H28)
- ・橋
橋梁法定点検(H27・H28)
- ・立体横断施設
ペデストリアンデッキ
法定点検(H30)
- ・公園緑地等
健全度調査(H28～)



取組 4 大径木の間引き



- ・隣接する樹木との競合により健全な育成が阻害される
- ・道路の安全な通行の支障になる



その他の取組

- 出前講座の実施
- インフラマネジメントシステムの活用
- インフラ管理ボランティア制度（府中まちなかきらら）
- 府中市公園施設長寿命化計画の策定
- 府中市下水道施設ストックマネジメント計画の策定

など

ご清聴ありがとうございました。



府中市マスコットキャラクター

ふちゅこま